

令和6年7月31日現在	前月比
世帯数.....2,756戸	(-7)
男性.....3,618人	(+3)
女性.....3,828人	(-11)
合計.....7,446人	(-8)

No.217
2024.9.20

響き

つながる莊原 笑顔の未来
活かそう 人を 歴史を 資源を

発行／莊原コミュニティセンター
出雲市斐川町莊原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602



8/6 (火) 8/23 (金)

莊原コミセンで「やまものの会」こども部 思いっきり遊びました

～夏休みこどもひろば～



夏休みの小学生を対象に遊びを通して地域の人や学年の違う友だちと交流を深めることを目的として、「夏休みこどもひろば」を実施しました。今年度新たに創設された「こども部」が企画し、「料理部」「総務部」のメンバー、地区社協のみなさんの力もお借りして行いました。

両日ともラジオ体操でスタートし、コミセンの周辺をゴミ拾いしながら町歩きをしました。

8/6は、パン作りと七夕会など、8/23は、クッキー作り、ペガールボールなど、子どもたちが喜んでくれる企画を考え、取り組みました。

パン作り、クッキー作りでは、トッピングを楽しむ子どもたちの姿に周りの大人たちも自然と笑顔になっていました。みんなで美味しくいただきました。

子どもたちからは、「みんなで一緒に遊んで楽しかった」「パン作り(クッキー作り)が楽しかった」「学年が違う人とも協力しているいろいろなことができて良かった」など、嬉しい声が聞かれました。



7/31
(水)

玉ねぎの皮を使って草木染め体験

～個性的なバンダナが出来上がりました!～ 自主企画事業

夏休みの小学生を対象に昨年度に引き続き「玉ねぎの皮を使って草木染め体験」を実施しました。昨年度も参加した子どもたちも多く、昨年学んだノウハウを活かしながら、一人ひとり違った模様の素敵なバンダナが完成しました。

輪ゴムや割り箸を使ってデザインする、玉ねぎの皮を煮出した液につける、ミョウバン液につける、水洗いする、アイロンをかける……など、様々な工程の中で小学生とふれあい交流部のみなさんが交流を深めることができました。また、アイロンをかけるときに、高学年の子どもが低学年の子どもに教えている場面も見られ、子ども同士の交流も深めることができたと思います。



きれいに染まってる



できたよ～!



うまい! うまい!



羽根盆踊り

荘原コミセン子ども盆踊り教室

～酷暑にも負けず頑張りました 立派に踊りを披露!～

「羽根盆踊り」は、戦国時代から今日まで引き継がれた伝統的な民俗芸能で、出雲市指定無形民俗文化財に指定されています。

この夏休み、荘原コミセンで「子ども盆踊り教室」を開催しました。荘原小学校1年生から6年生までの69名というたくさんのお子さんが参加しました。初日には「健康づくりの会」の皆さんによる「熱中症予防講座」で注意点をしっかり聞き、酷暑にもかかわらず元気に長期(7/24～8/9)の練習に励みました。

8/10
(土)

「出雲神話まつり」37名参加

「羽根盆踊り愛好会」の皆さんが用意してくださったおそろいの法被を着て、伝統ある「羽根盆踊り」を来場者にお披露目することができました。その後ほかの出演団体の皆さんと一緒に、くにびき大通りを約1時間あまり「出雲盆踊り」で練り歩きました。多くの来場者の皆さんの前で元気に踊ることができました。

8/15
(木)

「荘原夏まつり花火のタベ」68名参加

大勢の地域の方の前で、久しぶりに外の会場で披露することができました。たくさんの参加者で迫力ある踊りを披露できました。来場者の皆さんが温かい声援をおくってください、とても気持ちよく踊ることができました。

8/17
(土)

「西光院 十七夜祭」30名参加

「羽根盆踊り」発祥の地といわれる西光院で踊りを奉納しました。西光院と地域の皆さんが大切に守ってこられた伝統のお祭りで披露することができ感動しました。



「羽根盆踊り愛好会」の皆様には、夏休み入ってから8月中旬まで、毎日指導にあたっていただきました。また、お祭りの参加に当たり尽力をいただきましたこと、感謝申し上げます。長期間本当にお世話になりました。ありがとうございました。



羽根盆踊り子ども教室

7/24~7/26
(水) ▲ (金)

8/19 8/20
(月) (火)

小中学生サマースクール

荘原地区青少年育成協議会

毎年人気のサマースクールですが、今年は小中学生合わせ前期73名、後期60名の大人数の皆さんが参加し、計5日間6名の地元教員OBと一緒に学習しました。

小学生は暑さも吹き飛ばすほど元気が良く、早い子どもは開始時刻の1時間前からくる小学生もいて、勉強が始まる前や休憩時間に仲間と一緒に楽しく過ごしていました。勉強時間になると集中して頑張る姿がみられ、それぞれの課題をこなしていました。

中学生は、「休憩」の声をかけないとずっと課題に向かっていました。目標をきちんと持って自分のためにしっかり取り組んでいる姿は「さすが」です。

今夏は酷暑でしたが、期間中元気にコミセンに通って頑張りました。



8/24
(土)

子どもクッキング教室

荘原地区青少年育成協議会

早く
食べたいね!



4~6年生児童23名の皆さんが参加し、JA斐川あぐりキッチン「ふあみ〜ゆ」で、夏休み子どもクッキング教室を開催しました。今回は「手作りうどん」「プリンアラモード」を作りました。

うどんは麺づくりから行いました。中力粉など材料を混ぜたものをビニール袋に入れ、順番に足でふみふみして生地を作り、それをめん棒で伸ばし細く切ります。切った麺をゆでて水で麺のぬるぬるを落として出来上がりです。麺から作るのは初めての児童がほとんどで、足でふみふみするのは新鮮で、特に楽しい作業となりました。プリンアラモードは、プリンの材料を混ぜ合わせたものを冷やし固め、固まったプリンに果物やホイップクリームで自分のプリンに美味しそうな飾り付けをしました。やはり自分で作った料理はとてもおいしく、うどんはもちもちしてのど越しもよく、プリンも甘くてとてもおいしくできました。

食事が終わった後は、自分が使った食器は自分で片付け、最後まで「クッキング」をやり遂げました。子どもたちの笑顔あふれる楽しいクッキング教室でした。講師の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

今年度は、あと2回開催を予定しています。次の開催も楽しみにしててください。

いただきます! ♪

よく
洗って!



大豆畑の水やり

自主企画事業

こども倶楽部



今年は記録的な猛暑となりました。毎日のように、熱中症警戒アラートが発表される中、雨も降らず、丈夫な作物である大豆もピンチに陥ってしまいました。

地域の方のご厚意で井戸水を使わせていただき、「こども倶楽部」のメンバーで少しずつ分担して水やりをしました。カラカラに乾ききった畑は水をかけてもかけてもすぐに飲み込んでしまいます。根気強く、酷暑の中での作業をしてくださったおかげで、大豆が元気を取り戻しました!! 「こども倶楽部」の皆さん、どうもありがとうございました。

1班
7/9
(火)

2班
7/18
(木)

3班
7/12
(金)

ふれあいサロン
おいでませの会

7/2
(火)

地域小サロン

幸町サロン

「伊勢神宮」と「出雲大社」は 密接な関わりがあった!?

荘原地区在住の保科晴夫さんには令和3年から3年間に渡り荘原の歴史、街並み、街道、川などについてお話していただき、会員のみなさん・ボランティアのみなさんに興味を持っていただくことができました。

果たして今年度は、どんなお話が聞けるのかと楽しみにしていたところ、「伊勢神宮」と「出雲大社」についてお話していただきました。

御祭神、創建、拝礼、神殿、遷宮など15の項目について「伊勢神宮」と「出雲大社」を対比しながら話される約1時間はあっという間に過ぎました。

次に「出雲大社」に参拝するときには、本殿を見る目もきっと変わっていることでしょう。



いつでも笑顔のあふれる 元気なサロンです!



「幸町サロン」は、毎月第二火曜日に活動しています。

7月のサロンは、みんなでフルーツポンチを作り、そうめんを茹でていただきました。

サロンの準備、後片づけなどみんなで一緒に行っています。

今年は、サロン開始から10年を迎え、気持ちも新たにこれからも明るく元気に続けていけることを願っています。

8/29
(木)

地元で就農している若いご夫婦は、 熱い想いであふれていました

～「やまももの会」役員研修会～

「地元で農業に取り組む想い」を聞きたいと、脱サラして他県での研修後に地元斐川町(神庭)に帰り就農しておられる福島克博さん・沙織さんご夫婦に来ていただき、「私たちが「ここ」で農業をする理由」と題して話していただきました。

お二人のこだわりでもある無農薬野菜については、厳密な有機野菜ではないが、極めてそれに近いものであること、また、少量多品目栽培では、70品目150種類(トマト、落花生、人参、トウモロコシ、ズッキーニ他多数)もの野菜を栽培していることなど、詳しく話していただきました。



販売については、飲食店、個人、直売所、マルシェなど様々なルートを考え、情報発信においてもInstagramや新聞・テレビなどのメディアを積極的に利用されていて、新しい農業のスタイルを感じることができました。

会員から「世代的にInstagramをしていない人が多いので、比較的やっている人の多くいるLINEで情報発信していただけたら…」とお願いがあり、福島さんからは「そうですね。検討します。」と前向きな返事をいただき、一気に場が和みました。

9/4
(水)

腸を整え身も心も美しく!

～女性の死亡原因の第1位は「大腸がん」!?～

健康について学び元気に暮らすことを目的として、出雲徳洲会病院・消化器内科の結城美佳先生に「腸から貴女の健康を考える」と題して話していただきました。

腸の免疫、腸内細菌、腸におすすめの食事、大腸内視鏡検査などについてテンポよく、わかりやすく、そして楽しくお話しくださり、元気をいただき前向きな気持ちになりました。

なお今回は、島根大学医学部看護学科の学生さんと斐川東中の生徒さんも参加しました。

やまももの会
社会文化部



8/15
(木)

庄原夏まつり 花火の夕べ

庄原夏まつり実行委員会

この「庄原夏まつり 花火の夕べ」は、企業の方の協賛金、各自治会の皆さまからの協賛金、そして庄原の商工会青年部を中心に、多くのボランティアさんが携わって会場準備、運営しており、たくさんの来場者や子どもから高齢者まで老若男女の参加者で賑わう、50年以上の伝統を引き継いできた、手作りの夏まつりです。また、今年は自治会以外の皆様にも協賛を呼びかけたところ、多くの方からご協力をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

今年は数年ぶりに屋外でのフル開催となり、たくさんの人出があり大いに盛り上がりました。

また、臨場感あふれる花火を間近で観賞できるこの庄原の打ち上げ花火は、皆様大変好評を得ており、毎年楽しみにしていただいています。今回も庄原の空に大輪の花が咲いたように華やき、観賞している私たちに元気を与えてくれました。

この夏まつりに来場され過ごされた時間がふるさとの思い出の一つとして、一人ひとりの心に残ればうれしく思います。

地域の皆様のご支援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



9/5
(木)

夏剪定

しょう ばら
Showバラの会

今年の庄原地区文化祭は、10月12日(土)、13日(日)で開催予定です。地域の皆さん、子どもたちの作品や展示が文化祭を盛り上げるほか、薔薇たちがこの文化祭を彩ります。その2日に満開を迎えられるよう、「Showバラの会」の皆さんが、夏剪定を行ってくださいました。また、今回は島根大学医学部看護学科の学生さんと斐川東中学校の生徒さんが参加してくれ、一緒に作業をしました。この夏の暑さで弱っていた部分もありましたが、綺麗に剪定された薔薇たちは、元気を取り戻した印象です。残暑厳しい中、剪定と草取り作業に参加して下さった皆さん、どうもありがとうございました！「庄原地区文化祭」をお楽しみに。



葉が密集しないように
枝のこを切って...

9/2 ~ 9/5
(月) (木)

島根大学医学部早期地域看護学実習



島根大学医学部看護学科の学生4人が荘原コミセンで、4日間の日程で早期地域看護学の実習をしました。地域の人の暮らしやその環境、歴史を知るため、実際に地域踏査を行ったり、コミセンの教室や団体さんの活動に参加したり、バラの剪定や草取りなどの作業をしたりして、たくさんの方と交流しました。

これらの経験が、地域で暮らす人の生活環境やライフスタイル、価値観などを捉え、看護に通じる視点を養う力を育む一助になったなら嬉しい。

短い期間でしたが、ここでの体験を思い出して研鑽に励まれ、更なる成長をし、ご活躍されますことを祈っています。

感想(抜粋)

- ★コミセン、荘原とはどういうところかどんな状況でどんな課題があるか教えていただいたことで、自分の故郷はどうなだろうと、調べてみたいと思った。
- ★年代の違う方と接することができ、コミュニケーションの取り方、間の取り方を学んだ。
- ★対象者を理解する良い機会となった。等々

9/4 9/5 9/6
(水) (木) (金)

斐川東中学校 職場体験



島根大学看護学科の学生さんの実習研修と重なった2日間は学生さんたちと一緒に活動したり、コミセンの教室の活動に参加し地域の皆さんと異世代交流を行ったりしました。生徒さんは、とてもまじめで礼儀正しく一生懸命動めてくださいました。

コミセンは地域の方々が来られ集う場であり、生徒さんにはこの3日間を通してたくさんの方と出会い交流する体験をしてもらいました。職場体験を通して、地域の人々や地域づくりに関心を持ってもらい故郷の良さを感じてほしいと思います。



写真でたどるあの日の荘原 Vol.3

今年は、オリンピックイヤーでしたので、今回はスポーツに関する昔の写真を紹介します。



まちづくり部



▲敗戦後、児童の体力向上の一環としてラジオ体操が奨励され、荘原の各地域で大人も子どもも参加して「夏休みのラジオ体操」が行われていました(昭和20年代前半)。



▲聖火を中本町で引き継ぎ、白バイ先導により新橋を渡る聖火ランナー
昭和39年(1964)9月22日



▲地区民体育大会の様子
競つり競争あるいは借り物競争と思われます
昭和36年(1961)9月18日

荘原コミュニティセンター「まちづくり部」では、引き続き皆様から懐かしい荘原の写真などの歴史資料を募集しています。ご自宅に懐かしい写真などありましたら、荘原コミュニティセンターまでご持参ください。

Information

荘原コミュニティセンターより お知らせ

第11回荘原・出東一斉クリーン大作戦実施について

出雲市環境保全連合会荘原支部「荘原・出東一斉クリーン大作戦」は、出雲市が実施している「出雲市18万人ボイ捨て一掃大作戦」の活動の1つとして斐川東中校区の荘原・出東地区で行うもので、今年で11回目となります。自治会の皆さん、小学生・中学生の皆さんとご家族が協力してごみ拾い活動を行います。

○日 時：10月27日(日) 午前8時～9時

○場 所：各自治会周辺エリア(詳しくは9月20日(金)配布のチラシをご覧ください)
みんなで荘原のまちをきれいにしましょう!!たくさんの方のご参加をお待ちしております。

リサイクルステーション 閉鎖のお知らせ

出雲市環境保全連合会荘原支部10月12日(土)と10月13日(日)は荘原地区文化祭開催のため、リサイクルステーションを閉鎖致します。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

10月 5日(土) } 通常通り 8:30～17:00
10月 6日(日) }
10月12日(土) } 閉鎖
10月13日(日) }

荘原コミュニティセンター ライン公式アカウントのご案内

荘原コミュニティセンター公式LINEアカウントができました!荘原コミセンで開催するイベント等の情報を発信していきます。ぜひ皆さんご登録ください。



ご寄付御礼

香典返し 金一封

飯塚 律子様(大倉自治会)

黒田 泰治様(羽根東自治会)

皆様からお寄せいただきましたお志は、荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。ご寄付は随時、荘原コミュニティセンターで受け付けております。

